

ローマ法王の休日 (2011)

HABEMUS PAPAM

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 105分

初公開日 2012/07/21

公開情報 ギャガ

【キャッチコピー】

神さま、
なせ、
私なんですか？

【解説】

「親愛なる日記」「息子の部屋」のナンニ・モレッティ監督がカトリックの総本山“ヴァチカン”を舞台に、人間味溢れる聖職者たちを登場させて描くヒューマン・コメディ。意図せずして新法王に選ばれ、プレッシャーのあまり逃亡を図ってしまった真面目で気弱な主人公が、ローマの街で束の間の人間らしい時間を過ごすさまをシニカルな視点を織り交ぜつつユーモラスに綴る。主演は「昼顔」「美しき諍い女」の名優ミシェル・ピッコリ。

ある日、ローマ法王が逝去した。システィーナ礼拝堂には各国の枢機卿が集結し、次期法王を決める選挙“コンクラーヴェ”が開催されることに。投票は新法王が決まるまで何度でも繰り返される。誰もが法王という重責に尻込みし、本命視されていた枢機卿たちも規定の票数を獲得するには至らず、時間ばかりが過ぎていく。そんな中、天の配剤か運命の悪戯か、まったく予想されていなかった無名の枢機卿メルヴィルが不意に新法王に決定してしまう。その結果に誰よりも驚いたのはメルヴィル自身だった。そしてパニックに陥った彼は、新法王のスピーチを待ちわびる大群衆の前に現われることが出来なくなってしまふ。困り果てた報道官たちは、素性を知らないセラピストに診察してもらうため、極秘裏に法王をヴァチカンの外に連れ出すことに。ところがメルヴィルは、彼らの隙を突いてローマの街へと逃げ出してしまふのだった。

【クレジット】

監督	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
製作	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
	ドメニコ・プロカッチ	Domenico Procacci
原案	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
	フランチェスコ・ピッコロ	Francesco Piccolo
	フェデリカ・ポントレモーリ	Federica Pontremoli
脚本	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti
	フランチェスコ・ピッコロ	Francesco Piccolo
	フェデリカ・ポントレモーリ	Federica Pontremoli
撮影	アレッサンドロ・ペシ	Alessandro Pesci
美術	パオラ・ビザーリ	Paola Bizzarri
衣装デザイン	リナ・ネルリ・タヴィアーニ	Lina Nerli Taviani
編集	エズメラルダ・カラブリア	Esmeralda Calabria
音楽	フランコ・ピエルサンティ	Franco Piersanti

出演	ミシェル・ピッコリ	Michel Piccoli	ローマ法王（メルヴィル）
	イエジー・シュトゥル	Jerzy Stuhr	報道官
	レナート・スカルパ	Renato Scarpa	グレゴリー枢機卿
	ナンニ・モレッティ	Nanni Moretti	精神科医（男）
	マルゲリータ・ブイ	Margherita Buy	精神科医（女）
	フランコ・グラツィオージ	Franco Graziosi	
	カミーロ・ミッリ	Camillo Milli	
	ダリオ・カンタレリ	Dario Cantarelli	
	ロベルト・ノービレ	Roberto Nobile	
	ジャンルカ・ゴビ	GianLuca Gobbi	